

2012 年 2 月 27 日

報道関係者 各位

ライフネット生命保険株式会社

～ライフネット生命、LCC に関する調査～

LCC の認知率 6 割、年収 1,000 万円以上の層の 67.1%が LCC に熱い視線

LCC 認知層の利用経験率約 1 割

LCC 利用経験者は「満足している」が多数派

4 時間以内の飛行時間なら LCC を選択、出張での利用経験者で 6 割強

低運賃のためなら機内サービス有料化を受容 5 割半、遅延を受容は僅か 6.4%

LCC 利用経験者と未経験者で「低コスト施策」への許容率に差
経験者「預け荷物が有料」「座席が狭い」「インターネット予約のみ」の許容率が高い

運賃同程度なら、東京・福岡間の旅行では新幹線より LCC 約 6 割

どこでも 3 万円未満なら年間海外旅行回数は平均 2.3 回

有職者の予想、LCC で「観光地が賑わう」7 割半、「地方企業が元気に」4 割半

今後の LCC の利用意向率 6 割弱、利用経験者の 84.5%が「今後も LCC を利用したい」

利用意向者の LCC への期待、「航空業界に価格競争をもたらす」6 割弱

インターネットを活用して新しい生命保険サービスを提供するライフネット生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 出口治明）は 2012 年 2 月 8 日～2 月 9 日の 2 日間、15～59 歳の男女を対象に、LCC に関する調査をモバイルリサーチ（携帯電話によるインターネットリサーチ）で実施、1,000 名の有効回答を集計しました。（調査実施機関：ネットエイジア株式会社）

※LCC とは・・・

ローコストキャリア (Low Cost Carrier) の略称で「格安航空会社」を意味します。

アンケート総括

■ LCC の認知率 6 割、男性は認知率 7 割弱、女性は 5 割強

■ 格安な航空運賃の LCC、年収 1,000 万円以上層の 67.1%が熱い視線

全国の 15～59 歳の男女 1,000 名（男性 500 名・女性 500 名、10 代 200 名・20 代 200 名・30 代 200 名・40 代 200 名・50 代 200 名）の LCC についての認知状況と関心の有無について聞いたところ、「知っていて、とても関心がある」が 11.0%、「知っていて、やや関心がある」が 29.4%、「知っているが、関心が無い」が 19.4%と、認知率は 59.8%となりました。

男女別では、女性 (52.0%) より男性 (67.6%) の認知率が高く、性年代別では 40 代男性 (78.0%) と 50 代女性 (66.0%) の中高年層の認知率が比較的高い結果となりました。

ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.

また、『関心あり(計)』(「知っていて、とても関心がある」+「知っていて、やや関心がある」)割合を、年収別にみると、「300万円未満」34.9%、「300～500万円未満」42.4%、「500～1,000万円未満」47.4%、「1,000万円以上」67.1%となりました。関心度の実態をみると、格安な航空運賃のLCCに高収入層がより熱い視線を注いでいる実状を窺い知ることができました。

■ LCC 認知層の利用経験率約 1 割

■ LCC 利用経験者の 5 割弱が「ジェットスター航空」を体験済み

■ LCC 利用経験者は「満足している」が多数派

プライベートでのLCC利用の満足度 6 割強、ビジネスユースでの満足度 5 割

■ 4 時間以内の飛行時間なら LCC を選択、出張での利用経験者では 6 割強

LCC 認知層(598 名)のうち、LCC の利用経験者は 58 名で、LCC 認知層の利用経験率は 9.7% でした。また、LCC 利用経験者(58 名)において、乗ったことがある割合が高かった LCC は、すでに日本に就航している「ジェットスター航空」(48.3%)、次いで「ジェットスター・アジア航空」(24.1%)、「チェジュ航空」(15.5%)となりました。

LCC 利用経験者(58 名)の LCC 利用時の満足度について聞いてみると、プライベートでの利用経験者(55 人)では「非常に満足」「まあ満足」の合計が 63.6%、出張での利用経験者(26 人)では 50.0%と、どちらの利用シーンでも半数以上の層が満足感を得ていました。「非常に不満」「やや不満」の合計はいずれも約 1 割にとどまり、実際に利用した方では LCC に対して満足している方が多数派なようです。

また、どのくらいの飛行時間の渡航で LCC を利用したいか、LCC 利用経験者(58 名)に聞いてみると、「4 時間以内」(ソウル・台湾・北京など)を選択した割合が、プライベートでの利用経験者では 49.1%と約 5 割、出張での利用経験者では 61.5%と 6 割強となりました。LCC の利用のニーズが中・近距離の渡航に集中することを予想しうる結果となりました。

■ 低運賃のためなら機内サービス有料化を受容 5 割半、遅延を受容は僅か 6.4%

■ LCC 利用経験者と未経験者で「低コスト施策」への許容率に差

経験者「預け荷物が有料」「座席が狭い」「インターネット予約のみ」の許容率が高い

■ 20 代の 5 割弱は、安くなるならネット予約のみで OK

全回答者(1,000 名)に、“運賃の安さのためなら、許容可能な範囲内”と感じる LCC による低コスト化施策を複数回答形式で聞いてみると、「食事や飲料、毛布など機内サービスが有料」が 54.6%、「客室乗務員など人的サービスの効率化」が 41.9%となりました。低運賃の実現のための機内サービスの有料化や削減は受容される割合が高いことがわかりました。またこの 2 つの施策は年齢層が上がるにつれて受容度も上がっていました。

また、LCC の利用経験別にみると、LCC 利用経験者(58 名)の方が低コスト化施策を受容する割合が高いようで、(許容範囲の低コスト化施策が)「特にない」は、LCC 利用経験者では 1.7%にとどまっているのに対し、LCC を利用したことがない方は 13.5%となりました。LCC を利用したことがない方と比べ、LCC 利用経験者で受容度が特に高かったのは、「預け荷物が有料」(37.9%)、「座席が狭い」(39.7%)、「インターネット予約のみ」(48.3%)でした。

年代別でみると、20 代の受容度が他の年代と比較して高かったのは、「インターネット予約のみ」で、47.0%と 5 割弱という結果となりました。

低コスト化施策のうち受容度が低かったのは、「フライト時間が遅延」(6.4%)、「安全対策の効率化」(10.9%)で、これらを損なうようなコストダウンは望まれていないようです。

■ 運賃同程度なら、東京・福岡間の旅行では新幹線より LCC 約 6 割

全回答者(1,000名)に、国内旅行での移動手段として(運賃が同程度と仮定の上で)LCCと新幹線のどちらが良いかを質問すると、『LCCが良い(計)』(「LCCが良い」+「どちらかという)LCCが良い」)は中距離旅行(例:東京・大阪間)の17.5%に対して、遠距離旅行(例:東京・福岡間)では59.7%と約6割に達しました。

国内中距離旅行で新幹線を選ぶ層(825名)の理由を自由回答形式で聞いたところ、「飛行機を使う際の手間・面倒」が186件挙がり、そのうちの約6割が「空港までの移動の手間」を理由としていました。これに「新幹線が好き」が104件、「快適さ」が94件で続きました。

対して、国内中距離旅行でLCCを選ぶ層(175名)では半数以上が「時間的メリット」(99件)をその理由に挙げており、運賃が同程度になるのであれば目的地に早くつく方法としてLCCを選択したいと考えていることがわかりました。

■ 超移動時代はやってくる? どこでも3万円未満なら年間海外旅行回数は平均2.3回

格安航空運賃が将来実現することで、超移動時代はやってくるのかどうかを予測するために、“日本全国どこに行く場合でも移動にかかるコストが5,000円未満になった場合”における年間の国内旅行回数を聞いてみると、平均値は5.6回となりました。

さらに、“日本のどこから海外のどこに行く場合でも移動にかかるコストが30,000円未満になった場合”における年間の海外旅行回数を聞いてみると、平均値は2.3回となりました。

今後のLCC間の価格競争次第で、普段の買い物で海外まで行ったり、会社の歓送迎会や忘年会を海外で開催したりする時代もそう遠くはないかもしれません。

■ 有職者の予想、ビジネスシーンの変化では、LCCで「有給休暇取得増加」2割半

■ 地方経済の変化では、LCCで「観光地が賑わう」7割半、「地方企業が元気に」4割半

■ 人と人との絆の変化では、LCCで「遠距離恋愛が続く」3割強、「絆が深まる」3割弱

回答者のうちの有職層(472人:「会社員・公務員・団体職員」+「経営者・会社役員」+「専門職(医師、弁護士、会計士など)」+「フリーランス、自営業」)に、LCCによる低運賃の実現によって、移動コストが大幅に低下することで生まれる“世の中の変化”を予想してもらいました。

先ず《ビジネスシーン》では、『そうなると思う』(「必ずそうなると思う」+「多分そうなると思う」、以下同様)と変化を予想した割合は、【ビジネスで出張が増える】で46.8%、【有給休暇取得が増える】で24.3%、【英語社内公用語化が増える】で19.7%となりました。

《観光や景気・地方経済関連》では、『そうなると思う』は、【観光地が賑わう】で75.6%、【旅先で使うお金が増える】で63.5%、【地方の企業が元気になる】で46.8%、【高速道路の利用者が減る】で38.6%、【地方都市の地価が上昇する】で28.0%、【景気が良くなる】で27.1%、【地方大学の人気上がる】で20.1%、【地方に住む人が多くなる】で19.3%、【お取り寄せグルメが減る】で12.3%となりました。

《絆関連》では、『そうなると思う』は、【遠距離恋愛が続くようになる】で32.0%、【人と人の絆が深まる】で28.4%、【方言を話す人が増える】で10.8%となりました。

■ 今後の LCC の利用意向率 6 割弱、利用経験者の 84.5%が「今後も LCC を利用したい」

全回答者(1,000 名)に、今後(も)LCC を利用したいかを聞いてみると、LCC を「利用したい」が 57.7%と 6 割弱の方が利用意向を持っているという回答を得ました。利用意向を世帯年収別にみると、「300 万円未満」の 54.6%から「1,000 万円以上」の 68.4%まで、年収が上がるほど利用意向が高くなりました。

LCC の認知有無・利用経験別にみると、この調査以前には LCC を知らなかった LCC 非認知層(402 名)の利用意向率は 47.0%であるのに対し、LCC を知っていたが利用経験のない LCC 認知層(540 名)では 62.8%と 6 割強、LCC を利用したことがある LCC 利用経験層(58 名)では 84.5%と 8 割半となり非認知層、認知層、利用経験層と LCC への理解が進むにつれて利用意向が高まっていることが分かりました。

■ LCC のあるべき姿として望むこと、「安全対策への投資に関する情報開示」6 割弱

■ 利用意向者の LCC への期待、「航空業界に価格競争をもたらす」6 割弱

最後に、全回答者(1,000 名)に、“LCC のあるべき姿”として LCC にどのような事を望むかを複数回答形式で質問したところ、「安全対策への投資に関する情報開示」が 57.9%と最も多くの回答を得ました。以下、「航空業界に価格競争をもたらす」(47.6%)、「就航路線の拡大」(43.5%)、「LCC 同士の競争によるサービス向上」(41.6%)、「既存航空会社による、安全や運航ノウハウの継承」(40.7%)が続く結果となりました。

また、今後 LCC を利用する意向のある 577 名では、全体と同様に「安全対策への投資に関する情報開示」(61.7%)が最も強く望まれている結果となりました。また、「航空業界に価格競争をもたらす」(58.6%)と「就航路線の拡大」(57.0%)においては 6 割弱が希望し、全体と比較して 10 ポイント以上高い結果となりました。LCC 利用意向者は航空業界で価格破壊が起きることを期待している傾向があり、積極的な利用に耐えうようにサービスの選択肢が増加することを望む利用者心理を窺い知る結果となりました。

■■調査概要■■

- 調査タイトル：LCCに関する調査
- 調査対象：ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする
15～59歳の男女
- 調査期間：2012年2月8日～2月9日
- 調査方法：モバイルリサーチ
- 調査地域：全国
- 有効回答数：1,000サンプル（有効回答母数から1,000サンプルを抽出）
- 実施機関：ネットエイジア株式会社

■■報道関係者様へのお願い■■

本リリース内容の転載にあたりましては、「ライフネット生命調べ」という表記をお使い頂けますよう、お願い申し上げます。

- 会社名：ライフネット生命保険株式会社
- 代表者名：代表取締役社長 出口 治明
- 設立：2006年10月
- 所在地：東京都千代田区麹町二丁目14番地2 麹町NKビル
- 業務内容：インターネットを利用した生命保険の販売
- ホームページ：<http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 マーケティング部：関谷
TEL:03-5216-7900

調査協力会社：ネットエイジア株式会社 担当：唐木田

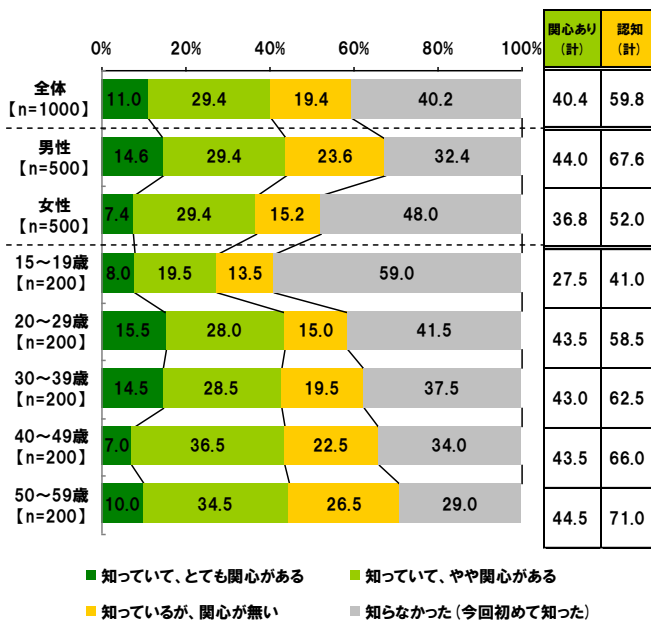
◆ ライフネット生命について URL：<http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

ライフネット生命は、保険の原点に戻り「どこよりも正直な経営を行い、どこよりもわかりやすく、シンプルで便利で安い商品・サービスの提供を追求する」という理念のもとに設立された、インターネットを主な販売チャネルとする新しいスタイルの生命保険会社です。相互扶助という「保険の原点」に立ち返りつつ、最新のテクノロジーを最大限活用して、生活者にとって便利でわかりやすく、かつ高品質な生命保険商品・サービスを提供することを目指しています。また、インターネットの活用により販売・事務コストを徹底的に削減し、価格競争力に加えて、24時間いつでも可能な納得の保険選びと迅速な申し込み手続きを実現し、「生命(いのち)のきずな＝ライフネット」を世の中に広げていきたいと考えています。

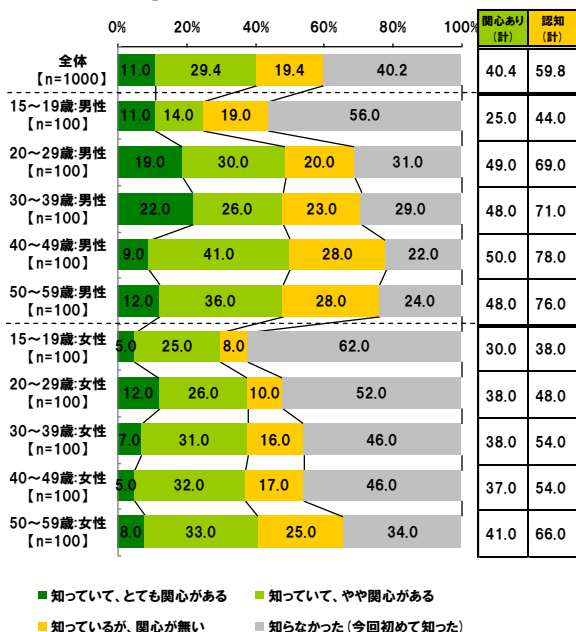
ライフネット生命保険株式会社

Copyright© LIFENET INSURANCE COMPANY All rights reserved.

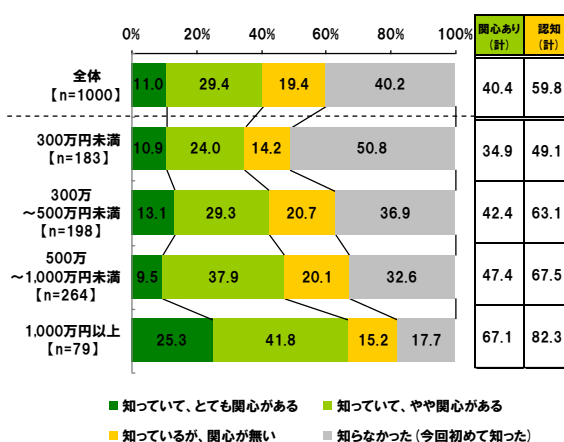
◆LCCを知っていたか、また、どの程度関心があるか
(単一回答形式) 性別、年代別



◆LCCを知っていたか、また、どの程度関心があるか
(単一回答形式) 性年代別

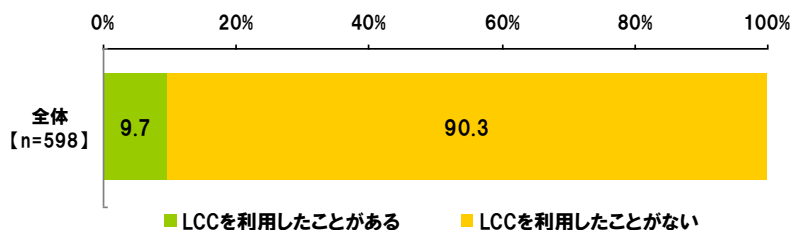


◆LCCを知っていたか、また、どの程度関心があるか
(単一回答形式) 世帯年収別



◆LCC利用経験

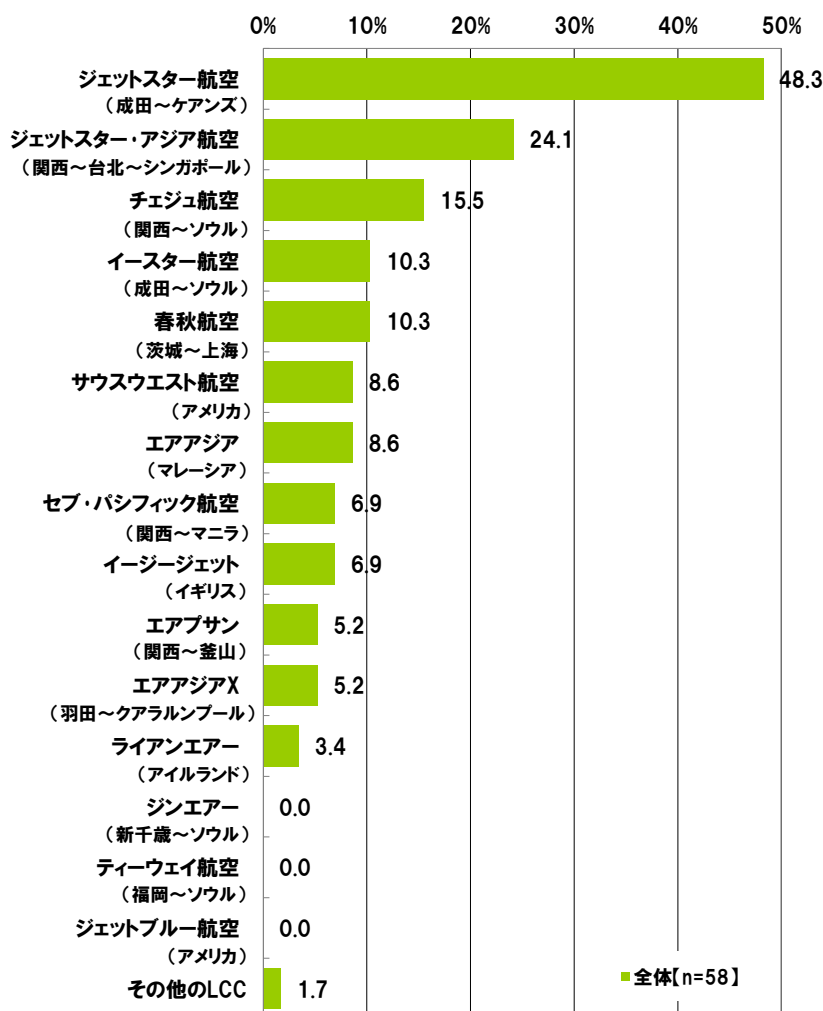
※対象:LCCを知っている方



※利用したことがあるLCCを聞き、LCC認知者全体から「LCCを利用したことがない」を除いた数を「LCCを利用したことがある」として算出

◆利用したことがあるLCC (複数回答形式)

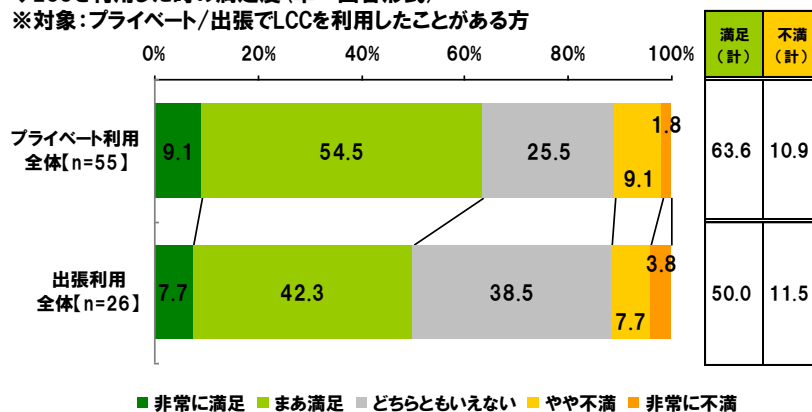
※対象:LCCを利用したことがある方



※航空会社名の下にある()内は、代表的な就航路線、または国を記載。

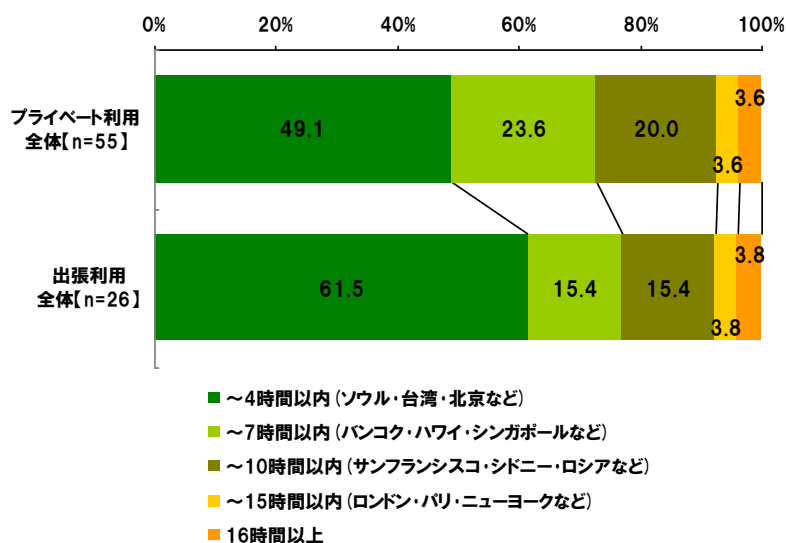
◆LCCを利用した時の満足度(単一回答形式)

※対象:プライベート/出張でLCCを利用したことがある方

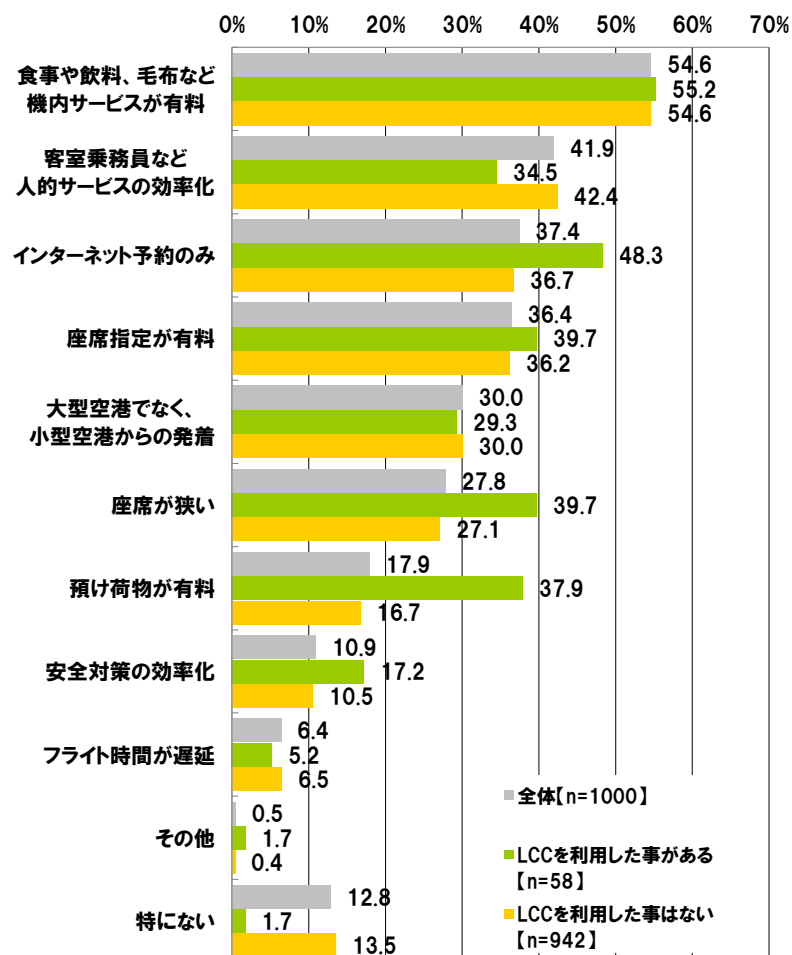


◆LCCを利用したいと思える飛行時間(単一回答形式)

※対象:プライベート/出張でLCCを利用したことがある方

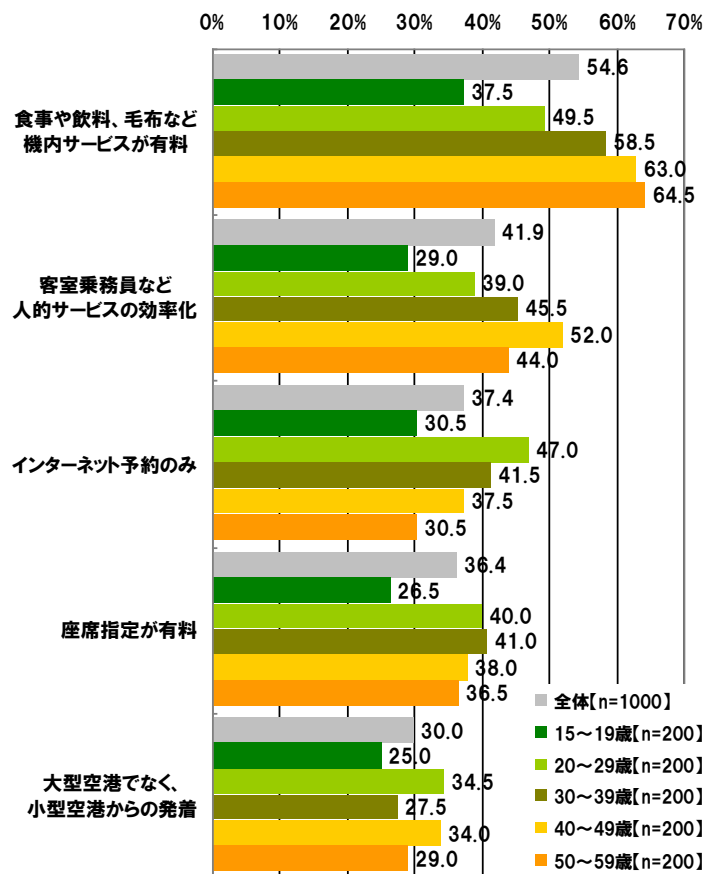


◆運賃の安さのためなら許容範囲のLCC低コスト化施策
 (複数回答形式) LCC利用経験別

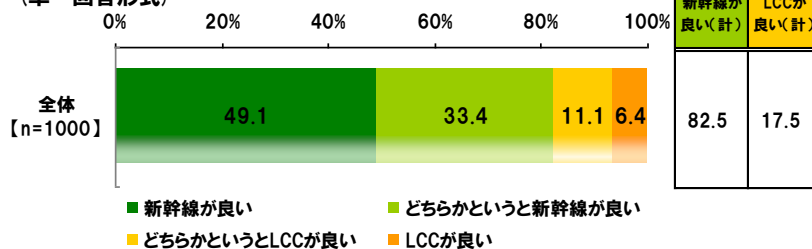


◆運賃の安さのためなら許容範囲のLCC低コスト化施策
 (複数回答形式) 年代別

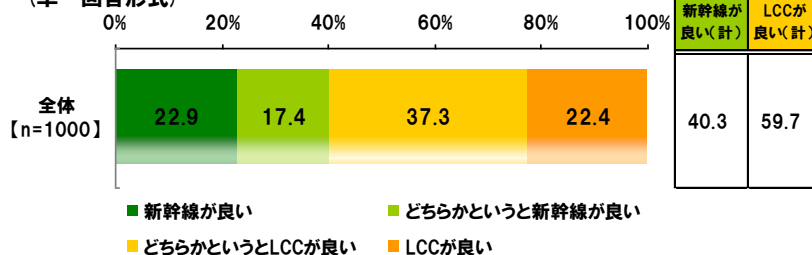
※全体での上位5項目を抜粋



◆運賃が同程度と仮定した場合の
国内中距離旅行(例:東京・大阪間)の移動手段《新幹線vsLCC》
(単一回答形式)



◆運賃が同程度と仮定した場合の
国内遠距離旅行(例:東京・福岡間)の移動手段《新幹線vsLCC》
(単一回答形式)



◆国内中距離旅行で運賃が同じなら“新幹線”を選ぶ層の理由(自由回答形式)

※対象者:◆国内中距離旅行で運賃が同じなら“新幹線”を選ぶ825名

理由	件数	回答率*	代表的な回答
飛行機を使う際の手間・面倒	186	22.5%	空港までの移動が手間、手続き等が手間、新幹線の方が手軽等
新幹線が好き	104	12.6%	新幹線が好き、飛行機は嫌い、LCCは嫌い 新幹線に乗りたい等
快適さ	94	11.4%	楽、のんびり・ゆったり、座席の広さ、 車内で歩ける、乗り物酔いしにくい等
安心・安全	68	8.2%	陸続き、逃げられる等
移動自体を楽しめる	59	7.2%	景色、旅行気分になる、途中下車で観光等
時間的メリット	57	6.9%	早い、待ち時間のロスがない等
新幹線で十分、LCCを使う理由がない	46	5.6%	飛行機を使う距離ではない等
駅が近い	37	4.5%	駅の方が近い、到着してからの移動は駅が 近い等
便利さ	36	4.4%	本数の多さ、乗りやすさ、自由が効き気楽、 携帯電話が使える、電車だけで行ける等
不安・心配	28	3.4%	飛行機が怖い・苦手・高所恐怖症・その他病 気等
慣れ・気楽さ	30	3.6%	慣れている、分かりやすい等
その他	9	1.1%	タバコが吸える、位置ゲームが出来る等
なんとなく・とくにない	114	13.8%	

*複数の理由を挙げている方もいるため、合計が100%になりません。

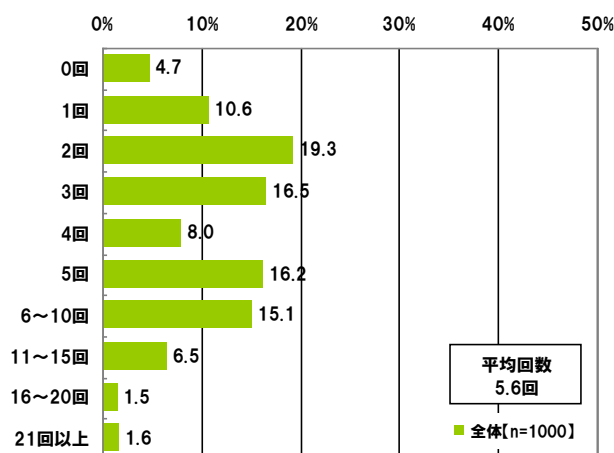
◆国内中距離旅行で運賃が同じなら“LCC”を選ぶ層の理由(自由回答形式)

※対象者:◆国内中距離旅行で運賃が同じなら“LCC”を選ぶ175名

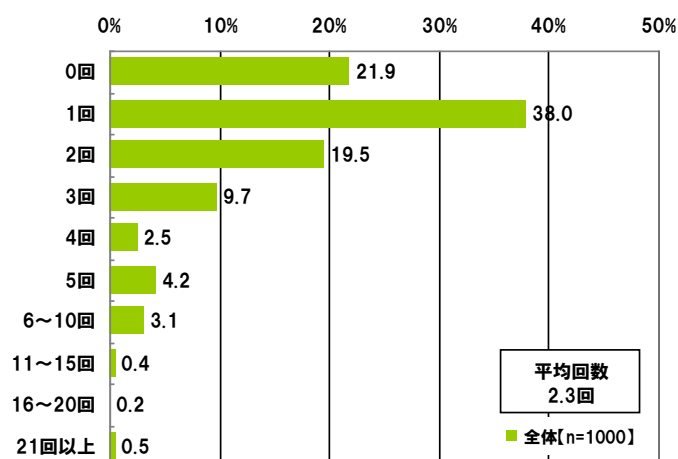
理由	件数	回答率*	代表的な回答
時間的メリット	99	56.6%	時間短縮できる、効率が良い
飛行機が好き	18	10.3%	飛行機が好き、乗りたい、楽しい等
楽	8	4.6%	楽
空港に近い	6	3.4%	空港まで近い、空港まで移動の便が良い等
お得感がある	4	2.3%	同じ費用であれば等
その他	18	10.3%	社用か私用かで変わる、大きな荷物を持って いける等
なんとなく・とくにない	27	15.4%	

*複数の理由を挙げている方もいるため、合計が100%になりません。

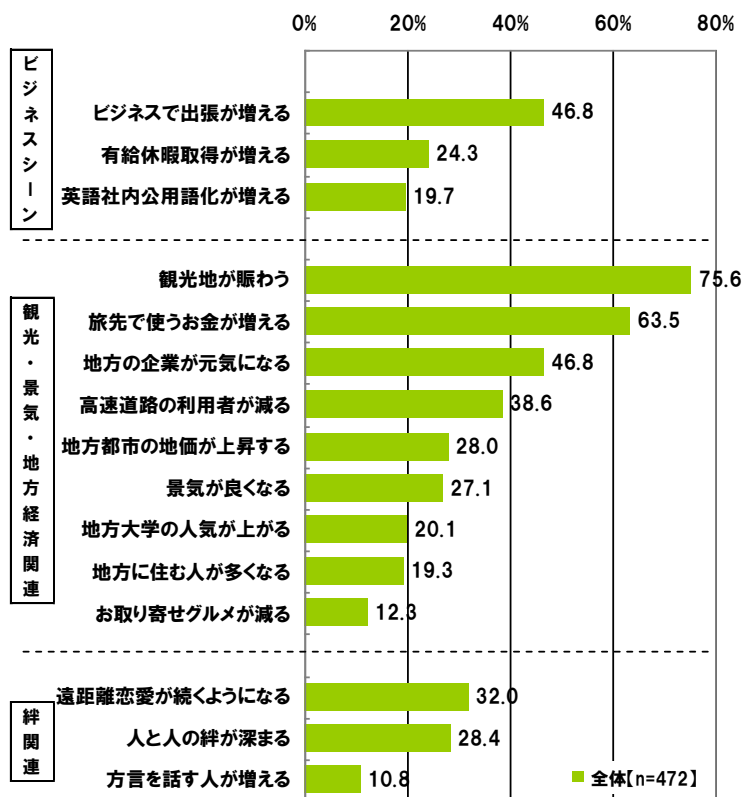
◆日本全国どこに行く場合でも移動コストが5,000円未満
 となった場合の年間国内旅行回数(自由回答形式)



◆海外のどこに行く場合でも移動コストが30,000円未満
 となった場合の年間海外旅行回数(単一回答形式)

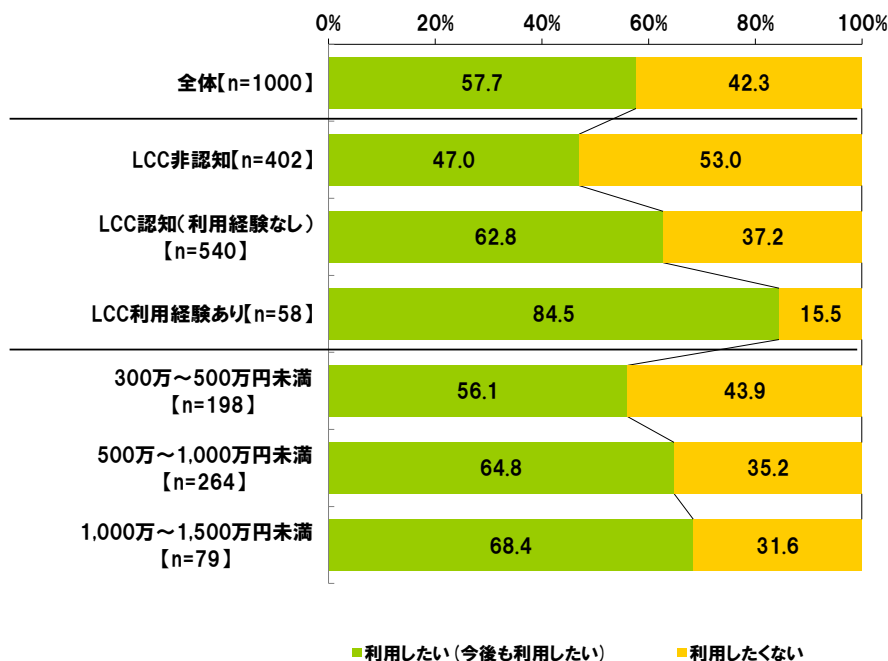


◆LCCによる移動コストが大幅に下がることでの世の中の変化
 (項目毎に単一回答形式) ※対象:有職者



※「必ずそうなると思う」+「多分そうなると思う」の値をグラフ化

◆今後LCCを利用したいと思うか（単一回答形式）
 _LCC認知・利用経験別、世帯年収別



◆LCCにどのようなことを望むか（複数回答形式）
 _LCC利用意向別

